

BIMobject Japan と CGworks が協業 設計者に、建材・設備・家具のデジタルコンテンツ利用を促進 ～セミナー・トレーニング開催により、デジタルコンテンツ利用の基本・実践・応用を支援～

野原グループで3Dデジタルコンテンツのプラットフォーム事業を行うBIMobject Japan株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：東政宏）は、大手ゼネコン設計担当者や建築内装設計デザイン会社（以下、ユーザー）向けに、建材、設備、家具メーカー（以下、メーカー）製品の建設プロジェクト向けデジタルコンテンツ¹（以下、メーカーオブジェクト）の利活用を促進する目的で、3DCGを活用したCGパースを提供する株式会社CGworks（所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：金澤勇輝）と2021年5月に協業契約を締結しました。本日、ユーザー向けに、メーカーオブジェクト9万点の特設ダウンロードサイトをCGworksサイトに開設しました。年内には、ユーザーのメーカーオブジェクト利活用を促進するため、セミナー・トレーニングの開催等による実践的支援・ユーザー同士のネットワーク拡大を強化する予定です。

国が主導するDX推進施策等により、業界内はデジタル化の気運が高まり、BIMⁱⁱを始めとするデジタル技術は普及段階に入ったと言われてしています。

私たちは、本協業によりユーザーのデジタル活用を実践的に支援し、メーカーにユーザーニーズの共有とメーカーオブジェクト製作支援を提案することで、メーカーオブジェクトの流通量増加によるユーザーの利便性向上を目指します。

－主な協業内容－

ユーザー向け	<ul style="list-style-type: none"> ・メーカーオブジェクト9万点の無料ダウンロードサイトの開設（仮想空間技術ⁱⁱⁱから建設プロジェクトまで目的別に幅広い用途で利用可能 ※施主へのプレゼンや製図作業を効率化可能 【CGworks×BIMobject Japan 特設ページ】https://cgworks.jp/bimobject/ ・セミナー、トレーニングの開催 ※現時点の予定テーマは、次頁の<今後の展開>に記載
メーカー向け	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーニーズの共有 ・3DCGパースからBIMまで幅広い用途で利用できるメーカーオブジェクトの製作提案（製作依頼は、CGworks・BIMobject Japanの両社で承ります。） ・メーカーのデジタル活用とスペックイン活動（最小コストでの売上・利益獲得）の支援 ※広告やwebにメーカーオブジェクトを利用することで、未来の購買層に自社製品やプロジェクトの魅力を訴求し、競合他社との差別化、ブランディングにも利用可能

メーカーオブジェクトの多様さとその可能性

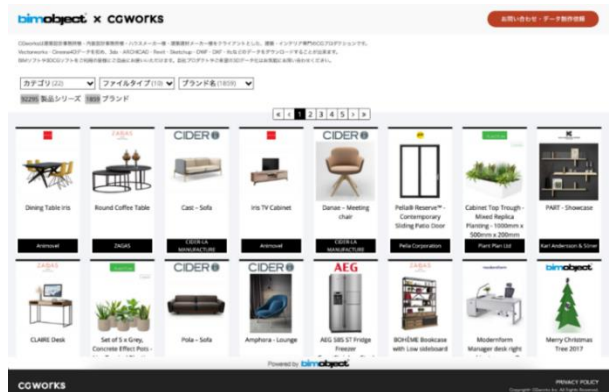
私たちが本日公開した、メーカーオブジェクト9万点の無料ダウンロードサイト（<https://cgworks.jp/bimobject/>）には、BIMオブジェクト、3DCGパース等を掲載しています。

●BIMオブジェクト

建材・設備・家具などのメーカー製品の寸法、重量、仕様、性能の情報が備わったデジタルコンテンツです。設計・施工・維持管理の建物のライフサイクルの各ステージで共通して利用できます。

●3DCGパース

実際の建設プロジェクトに先立って利用されます。パースには価格や施工に関する情報は含まれていません。



■ダウンロードサイトに公開されている精度の高い3DCGパースで関係者間でのイメージ共有が円滑に

●BIM オブジェクトと 3DCG パースの共通点

プロジェクト関係者間のビジュアルイメージ共有を円滑にします。

設計者・施工者・施主の間でプロジェクトのビジュアルイメージを共有することで、認識相違の回避や要望への対応、修正・改善等を仮想空間上で実施することができます。

<今後の展開>

CGworks は建築内装設計事務所出身のクリエイターが多数在籍し、建築 CG パース制作を数多く経験しています。私たちは、同社の制作技術と経験を活かし、要望の多かった建材や家具の BIM オブジェクト制作から特設ダウンロードサイトでのデータ公開までをメーカーに提案し、実際の建設プロジェクトでのメーカー製品認知・採用を促進します。

特に、以下に注力し、3DCG パースから BIM まで幅広い用途で利用できるメーカーオブジェクトの利用促進、製作、流通量の増加により、メーカーオブジェクトの充実とユーザーの利便性向上に貢献します。

(1) ユーザー向け、メーカーオブジェクトのセミナー、トレーニングの開催

- ・無料セミナー (bimobject.com のデータ活用方法、3DCG パース制作について)
- ・有料セミナー (IFC.js で IFC データを活用したセミナーや 3DCG の個別トレーニング)

※開催時期は決定次第、お知らせします。

(2) ユーザーニーズの把握

(3) ユーザーニーズに基づく、メーカーへのメーカーオブジェクト製作提案



■3DCG パースの例_左：会議室フロアの完成予想パース、右：フォトリアルなカタログ用 3D オブジェクト

【問合せ先】

株式会社 CGworks (担当：三澤・菅原)

E-mail : contact@cgworks.jp

電話番号：03-6625-4796

野原ホールディングス株式会社

建設 DX 推進統括部 VDC 事業開発部 (担当：原田・能勢)

E-Mail : bimobject-japan@nohara-inc.co.jp
japan@bimobject.com

以上

株式会社 CGworks について

CG パース制作会社で 9 年の経営経験を持つ代表の金澤が株式会社アズーム【証券コード：3496】との共同出資によって 2019 年 3 月に設立。建築設計事務所・内装設計事務所をクライアントとした、建築やインテリアデザイン専門の CG プロダクションです。これまでにホテルや飲食店、物販店、都市開発計画、集合住宅、戸建て、プロダクト、カタログ等の様々な CG パースを提供して来た他、VR・バーチャル空間制作やウォークスルー動画、コンセプトアートも手掛ける様になりました。現在 15 名の社員と 14 名の業務委託の計 29 名で常に高いクオリティを意識し、皆様のデザインを形にする「クリエイティブで素晴らしい作品」を提供してまいります。

▼ウェブサイト

<https://cgworks.jp/>

CGWORKS

BIMobject Japan 株式会社について

建材商社である野原ホールディングスと、BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject® Cloud」を世界的規模で展開する BIMobjectAB (Malmö Sweden) が 2017 年 12 月 27 日付で設立した、BIM の国内向けサービス会社です。

BIMobject Japan が運営する「BIMobject® Cloud」は、世界の建設資材や設備等のメーカー製品の BIM コンテンツ(製品のデジタルデータ)を始めとするあらゆる情報/データを掲載する世界最大のプラットフォームです。メーカーにとっては自社製品をグローバルに発信する場になっています。様々なサイトやソリューションとも幅広く連携できるだけでなく、全てを一括管理できる高機能なデータ管理システムとしての側面も持っています。設計者にとってはメーカー監修のオブジェクトデータを無料で入手できる場となっています。

▼BIM コンテンツプラットフォーム「BIMobject® Cloud」

<https://www.bimobject.com/ja/product>



野原ホールディングス株式会社について

野原ホールディングスを中心とする野原グループは、建設業界を中心に建材や鉄鋼関連、セメントなどの資材販売、道路交通標識などの販売・施工を通して事業を拡大してまいりました。

私たちは、2020 年 8 月より掲げる新ミッション「CHANGE THE GAME. クリエイティブに、面白く、建設業界をアップデートしていこう」のもと、これまで培ってきた知見をさらに磨き、未来につなげていくことで、より一層社会に貢献して参ります。

<https://nohara-inc.co.jp>



【本リリースに関するお客さまからの問合せ先】

株式会社 CGworks (担当：三澤・菅原)

E-mail : contact@cgworks.jp

電話番号 : 03-6625-4796

野原ホールディングス株式会社

建設 DX 推進統括部 VDC 事業開発部 (担当：原田・能勢)

E-Mail : bimobject-japan@nohara-inc.co.jp

japan@bimobject.com

【本リリースに関する報道関係者からの問合せ先】

野原ホールディングス株式会社 経営企画部 (担当：齋藤)

E-Mail : nhrpreso@nohara-inc.co.jp

TEL : 03-6328-1576

ⁱ デジタルコンテンツの主要なものには、PDF、Web、3DCG (パース、動画、XR)、3D 空間撮影、BIM オブジェクト、BIM 建築モデルがあります。

ⁱⁱ BIM は、形状や仕様・価格などの建材設備情報をデジタルデータに集約して、建設プロジェクトの関係者が共有し活用できるソリューションです。BIM を使った建設プロジェクトでは、設計の初期段階で詳細内容が決定します。設備・建材メーカーは、自社のメーカーオブジェクトをデジタル上に流通させ BIM 設計に組み込まれることで効率的に販売活動が実施できます。BIM ユーザーは、メーカーオブジェクトを利用することで建設プロジェクトのコスト管理や建材の仕様調査を効率的に進行できます。

ⁱⁱⁱ 仮想空間技術とはエクステンデッド・リアリティ (Extended reality、XR) とも言い、「VR」「AR」「MR」などの総称を指します。VR (仮想現実) は、仮想の世界を現実のように体験できる技術。AR (拡張現実) は、現実の世界に仮想の世界を重ねて体験できる技術。現実世界の映像があり、その上に仮想世界の情報が重なるイメージ。MR (複合現実) は、現実と仮想世界を“融合させる”ことができます。